



25 ほっこくかいどう 北国街道の整備 (絵になる道づくり)



街道の入り口に置かれた道標



石畳と地道で歩道と車道を整備



沿道の旧商家



DATA・BOARD 25

- ①滋賀県長浜市元浜町
- ②延長：513m，幅員：4～5 m
- ④天然御影石
- ⑤長浜出世まつり



豊臣秀吉が長浜と名づけたこのまちは、北国街道が南北に走る交通の要所だったところで、現在も古い家並みが残っている。長浜市では、まちの歴史・文化を現代に生かしながら旧市街地の活性化に取り組み、長浜らしい絵になる道づくり事業として「北国街道の整備」を進めてきた。

整備にあたっては、郷土史家、建築家、設計技師をはじめ地域住民が協議を重ね、整備の方向性の検討を行った。路面は、建物を引き立てて楽しく歩けるように、デザイン、素材、色彩に配慮しながら、車道を地道のイメージを持たせた半剛性舗装に、歩道を天然御影石の石畳舗装としている。

また、電柱への配慮やまちかど広場、橋の修景整備などを加えたほか、地元住民が北国街道町衆の会を結成し、まちなみ協定を締結して景観形成の自主的な活動を続けている。